

「安倍9条改憲 NO！全国市民アクション

憲法改正される、それから9条に対して自衛隊がどうのこうのという恐ろしいことだと思います。だから憲法改正は具体的に言って反対です。

空襲のあとの新宿あたりを歩いたら黒焦げになった死体が何百と路上に横たわっていた。それを乗り越して中学へ行っていた。渋谷から友達に会いに向かう途中に空襲警報がなり焼夷弾がバラバラと落ちてきた。焼夷弾が女の子に直撃して、その子の腕だけを持っていた。戦争というのはこういうものだ。

何が戦争だと思います。国を守るためにって言われると、そうかなあと思って、みんな権力者のあとについていってしまうかも知れませんが戦争を体験したこともない人たちに、最期に「戦争反対」っていうのを唱えて死んでいきたいですね。

俳優：仲代達也

戦争なんてのは本当に愚の骨頂ですよ。やるもんじゃないですよ。いまだに戦争の爪あとが残ってるじゃないですか。あの落語をやっちゃいけない、この落語をやっちゃいけない、全部お上から止められたわけですよ。

落語家：桂歌丸

日本は今、ゆっくりとした大きな渦のふちにいる。戦争とか、どす黒いものがたくさん入っていて、その渦に巻き込まれるかどうかの境目だと思う。戦争にも同じような時代があったことを知らない。戦時を知っている人は、もっと伝えないと。

漫画家：ちばてつや

Twitter 公式アカウントより 著名人発言

やはり憲法9条は死守していかなければならない。広島や長崎に原子爆弾が落ちたのも、普天間の問題がくすぶっているのも、そもそも戦争がなければなかったことですからね。

俳優：菅原文太

絶対戦争はしない国だし、それを誇りとしている憲法を変えようという動きには心配しています。平和憲法は絶対に変えてはいけません。どれだけの人が死んだか300万人ですよ。将来ある人たちも。

ユニセフ親善大使：黒柳徹子

9条を改憲する必要なんてありません。今の政治家は戦時中の軍人と同じです。そういう連中が、憲法改正、改正と言って、また日本を戦争にひきずりこもうとしている。彼らこそ非国民です。日本が戦争にひきずりこまれることなくこられたのは憲法に守られてきたからです。

俳優：美輪明宏

政府がどさくさに紛れて思いつきのような方法で憲法を変えようなんて、もってのほかです。

映画監督：宮崎駿

作家に対し、政治的発言はすべきじゃない、という人もいます。思いは作品に託せばいい。僕もそう思っていたんですよ。しかし、あまりにも状況がひどすぎるので、だまっていられなくなった。

作家：赤川次郎

開会式は各国が乱れてバラバラに入ってくるんです。あれは東京五輪が最初なんです。(中略)それを見て爺さんが一言いったのをいまでも覚えていますけどね、『戦争なんかしちゃだめだね』って。

タレント:タモリ

憲法9条はバイブルのような大切なもの。絶対に変えさせるわけにはいきません。亡き母は『あの当時、戦争反対と言えなかった』。私達の世代はそれを言わなければいけない。武器を持たないことこそ積極的平和主義。

女優:吉永小百合

日常の普通じゃなくなるのが戦争。戦争は絶対にしちゃだめ。普通がいいんですよ。普通が。僕らの世代が戦争に行くことはないでしょうけど、僕の孫の世代が戦争へ行かされるなんて道理に合わない。日本は絶対憲法9条なくしちゃいかんと思います。

落語家:笑福亭鶴瓶

このままいくと憲法改正です。その後は徴兵制になって戦争に突っ込んでいってー。あなたたちのお子さんが兵隊に取られて死んでですよ。

ミュージシャン:坂本龍一

安倍9条について『単なる理想にすぎない』って改憲論者は言うけれど、そんなことはない。9条の精神が世界規模に広がっていけばいいと思う。人間が好きだからやっているわけで人間が殺されるのを指をくわえて見ている芸術家はいないと思う。

女優:渡辺えり

武器など絶対に使用しないで平和を具現化する。それが具体的な形として存在しているのが、日本という国の平和憲法9条ですよ。それを現地の人たちも分かってくれているんです。政府側も反政府側もタリバンだって我々には手を出さない。むしろ守ってくれるんです。

ペシャワール会:医師 中村哲

アメリカや NATO 諸国は日本を終わりのない対テロ戦争へ巻き込もうとし、巻き込まれようとしています。日本が平和主義のもとで戦後70年培ってきた国際社会の中での信頼の資産が今、失われようとしている。日本が果たすべき役割は武力によらない紛争の解決なのです。

JVC 代表理事:谷山博史

「ぼくは昔、日本がアメリカに戦争のために寄付するということがあったとき、さすがに怒って国税局に行ったんですよ」「俺は戦争のためとか、人殺しをアシストするために働いてるんじゃないって。そのために税金を納めているんじゃないって言いに行ったんです」

タレント:明石家さんま

むしろ訪れて怖いのはデモが起らない街です。いわゆる独裁者が恐怖政治を敷いている街ではデモは起こりません。そのかわり、変な目くばせが飛び交います。(中略)デモが起こる都市より、デモが起らない都市の方が怖いです。

シングソングライター:小沢健二